

環境に関する事業者アンケート調査（事務局とりまとめ案）

— アンケート調査へのご協力のお願い —

日頃から市政にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

府中市では、市民・事業者・行政の各主体の協働により、豊かな環境を保全し、環境との調和を保ちつつ、持続的発展が可能な循環型社会を築くため、「人も自然もいきいきする環境都市・府中」を目指しています。

環境都市・府中を推進するため、平成26年に「第2次府中市環境基本計画」を策定し、環境に関するさまざまな取り組みを行っていますが、令和4年には、計画を策定してから9年目となる計画の最終年度を迎えます。その間、気候変動による台風や集中豪雨等、自然災害による脅威が高まるなど、市を取り巻く環境や社会情勢が大きく変化したことを踏まえ、環境施策のさらなる強化を図るため、新計画を策定することにいたしました。新計画策定にあたり、事業者のみなさまの環境に関するご意見を伺い、新計画に反映させたいと考えております。

本調査の実施にあたり、市内に事業所がある事業者から500事業者を無作為に選ばせていただきました。回答内容につきましてはすべて統計的に処理し、会社名等は公表いたしませんので、公表資料で事業者が特定されることはありません。

お忙しいところ誠に恐縮ですが、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和3年●月

府中市 生活環境部 環境政策課

■回答・返送にあたってのお願い■

- 回答に迷う場合は、貴事業所のお考えにできるだけ近いものをお選びください。
- 特に先進的な取組、独創的な取組、普及すべき取組などを実施されている事業者には、後日、詳細な内容をヒアリングさせていただく場合がございます。
- アンケートは、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、ポストへ投函ください。
- 回答に必要な時間は約15分です。

回答の期限 ●月●日（●）まで

【お問い合わせ先】

府中市 生活環境部 環境政策課

電話：042-335-4196（直通）

FAX：042-361-0078

受付時間：月～金（祝日を除く）午前8時30分～午後5時

調査票の記入方法について

- 回答は、あてはまる番号や記号に○をつけていただく形式となっています。その際、あてはまるもの「1つに」など○の数を指定しています。指定数よりも○の数が多かった場合、集計上無効となってしまいますので、お気をつけください。
- 一部、回答を回答欄に記入していただく設問もあります。
- 回答の中で「その他」を選んだときは、その内容を()の中に具体的に記入してください。

貴事業所について、お答えください。

問1. 貴社名、事業所名、住所、連絡先をご記入ください（任意回答）。アンケートの内容に関して追加で調査をさせていただく場合があります。

項目	記入欄
社名・事業所名	
住 所	
連絡先	Tel: _____ E-mail _____

問2. 貴事業所の業種についてお尋ねします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

① 農業、林業	⑦ 運輸業、郵便業	⑬ 生活関連サービス業、娯楽業
② 漁業	⑧ 卸売業、小売業	⑭ 教育、学習支援業
③ 建設業	⑨ 金融業、保険業	⑮ 医療、福祉
④ 製造業	⑩ 不動産業、物品賃貸業	⑯ その他のサービス業
⑤ 電気・ガス・熱供給・水道業	⑪ 学術研究、専門・技術サービス業	⑰ 公務
⑥ 情報通信業	⑫ 宿泊業、飲食サービス業	⑱ その他()

問3. 貴事業所の種類についてお尋ねします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

① 賃貸（建物全体を賃貸）	② 賃貸（建物の一部フロアを賃貸）
③ 自社保有（建物全体を保有）	④ 自社保有（建物の一部フロアを保有）
④ その他()	

問4. 貴事業所の従業員数についてお尋ねします。あてはまるもの1つに○をつけてください。

① ~5人	② 6~20人	③ 21~50人
④ 51~100人	⑤ 101~300人	⑥ 301人以上

環境全般

環境保全について、貴事業所の考えをお聞かせください。

問5. 貴事業所では、環境保全に対する企業の役割について、どのように考えますか。考えに特に近いものを選び○をつけてください（いくつでも）。

- ① 事業活動に伴う環境への影響（排ガスや排水、廃棄物）を可能な限り低減させる
- ② 環境にやさしい商品等を製造・販売することで、消費者の行動を環境保全型へと誘導する
- ③ 自らが製造・販売した商品等については、最終的に廃棄されるまで責任を持つ
- ④ 環境に関わる情報などを積極的に公開、提供する
- ⑤ 企業も地域の一員として、地域の環境保全活動へ参加、協力する
- ⑥ 国や地方自治体の環境保全の施策に協力する
- ⑦ 開発途上国における公害問題など、国際的な環境保全に協力する
- ⑧ 収益の範囲内で、環境保全対策を積極的に進める
- ⑨ その他（）

問6. 貴事業所と環境問題の関わりについてあてはまるものは何ですか。考えに特に近いものを選び○をつけてください（いくつでも）。

- ① 事業活動に伴う環境への影響（排ガスや排水、廃棄物）を可能な限り低減させている
- ② 環境にやさしい商品等を製造・販売することで、消費者の行動を環境保全型へと誘導している
- ③ 自らが製造・販売した商品等については、最終的に廃棄されるまで責任を持っている
- ④ 環境に関わる情報などを積極的に公開、提供している
- ⑤ 企業も地域の一員として、地域の環境保全活動へ参加、協力している
- ⑥ 国や地方自治体の環境保全の施策に協力している
- ⑦ 開発途上国における公害問題など、国際的な環境保全に協力している
- ⑧ 収益の範囲内で、環境保全対策を積極的に進めている

市の施策についてお聞かせください。

府中市環境基本計画では、望ましい環境像を「人も自然もいきいきする環境都市・府中」とし、これを実現するための6つの基本方針、8つの重点施策を以下のように定めています。

5つの基本方針

- ① 水と緑が豊かにあるまちを目指します
(多摩川や湧水の保全、農地の保全やまちの緑化、生き物の保全などの取組みを行います。)
- ② 安全・安心に健康で暮らせるまちを目指します
(大気汚染、水質汚染、騒音等の公害対策やダイオキシン類等に対する対策を行います。)
- ③ 文化的で快適なまちを目指します
(安全な道路環境づくりや景観の保全、歴史的・文化的環境の保全に向けた取組を行います。)
- ④ 低炭素型・循環型のまちを目指します
(再生可能エネルギー、高効率なエネルギーの利用促進、ごみの減量、適正処理に向けた取組を行います。)
- ⑤ 環境パートナーシップの育つまちを目指します
(府中市環境保全活動センターを中心に、環境学習機会の充実、環境配慮への意識啓発等の取組みを行います。)

8つの重点施策

- ① 水と緑のネットワークを形成し、府中市の自然や景観を守り育てる
- ② 生物多様性の保全に向けた行動を推進し、人と自然が共生したまちをつくる
- ③ 府中市のまちを特色づける、歴史的景観を保全する
- ④ 自然エネルギーの利用や省エネルギーを推進し、二酸化炭素排出量の削減に務める
- ⑤ 市民一人ひとりが、3Rを推進し、ごみの少ないまちをつくる
- ⑥ 環境を学ぶ機会を積極的に創出し、環境問題に対する興味や関心の向上を図る
- ⑦ 府中市環境保全センターを活用した市民等のパートナーシップを構築する
- ⑧ 学校をエコスクール化するとともに、環境教育・学習を推進する

問7. 今後、「人も自然もいきいきする環境都市・府中」を推進していくために、どのような施策を重点的に取り組む必要があると思いますか。下記に自由にお書きください。

貴事業所での取組についてお聞かせください。

問8. 府中市では「人も自然もいきいきする環境都市・府中」の実現に向け、具体的かつ実践的な環境保全行動をまとめた手引書として「府中市環境行動指針」を策定しています。次の①～⑭の行動それぞれについて、貴事業所は環境の保全に関わる行動を実践していますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

環境の保全に関わる取組		いつも 行っている	時々 行っている	今後行いたい	今後行わない	自社に該当しない
生活環境	① 事業活動に伴い発生する排煙、排水、廃液、騒音、振動、地盤沈下、悪臭、化学物質等に関し、公害防止に係る法律や条例を遵守している	1	2	3	4	5
	② 公害防止のため、法律や条例を上回る自主規制基準を設け、運用している	1		3	4	5
	③ 事業所周辺の清掃に努めている	1	2	3	4	5
	④ 建築物は周辺の景観との調和を考慮している	1		3	4	5
環境保全行動	⑤ 環境保全のための指針等を策定している	1		3	4	5
	⑥ ISO14001 やエコアクション 21 などの認証取得や独自の環境マネジメントシステム※を構築している	1	2	3	4	5
	⑦ 環境対策部署や担当者を設置している	1		3	4	5
	⑧ 従業員への環境教育や指導を行っている	1	2	3	4	5
	⑨ 環境保全の取組状況などをまとめた環境報告書を作成している	1		3	4	5
	⑩ 環境会計※を導入している	1		3	4	5
	⑪ 都や市、団体が主催する環境関連のイベントなどに参加・協力している	1	2	3	4	5
	⑫ 環境保全行動（CSR 活動など）を実施している	1	2	3	4	5
	⑬ エコ活動支援制度に積極的に参加し、講師等としての参加、事業所見学の機会の提供などにより、エコ活動の推進を支援している	1	2	3	4	5
	⑭ 市民や市による環境保全活動に対して、地域の一員として参加するとともに、運営、資金、人材、技術、機材などの面において協力・支援を行っている	1	2	3	4	5
	⑮ 事業所内のオープンスペース、駐車場、事業所前の道路などにおいて、打ち水を実施し、また「打ち水イベント」に積極的に参加している。	1	2	3	4	5
	⑯ 事業者として、府中市環境保全活動センターの運営に参加している。また、センターにおいて、市民や行政と積極的に意見交換を行うとともに、自ら環境保全活動や環境学習会を企画するなど、主体的にセンターの活動に参加している。	1	2	3	4	5
	⑰ 小・中学校で開催される環境活動について、地域の一員として積極的に参加し、子どもの環境活動を支援するとともに、自らも学び、体験している。	1	2	3	4	5

しゅみの減量・資源化	⑱ 商店街や大規模店舗などでの事業系ごみの減量、リサイクルの推進に努めている	1	2	3	4	5
	⑲ 再生紙やリサイクル品を積極的に購入している	1	2	3	4	5
	⑳ 再使用やリサイクルにより、ごみの発生が少ない製造や販売などの事業活動に努めている	1	2	3	4	5
	㉑ 食品ロスの削減に努めている	1	2	3	4	5
	㉒ 製品が廃棄されるとき別の分別方法や資源化方法、またグリーン購入対象製品・商品を表示し、それらの情報を提供するとともに、グリーン購入にも努めている	1	2	3	4	5
	㉓ リターナブル製品、長期間の使用ができる製品、再生・再使用が可能な製品などの製造・販売・使用に努めている	1	2	3	4	5
	㉔ 簡易包装やマイバッグ持参者などに対するスタンプ制度など、販売方法を工夫して、ごみの発生抑制に努めている	1	2	3	4	5

※ **環境マネジメントシステム**

事業者が自主的に環境保全に関する取組を進めるに当たり、環境に関する方針や目標等を自ら設定し、これらの達成に向けて取り組んでいくための仕組みのことです。

※ **環境会計**

事業活動における環境保全のためのコストとその活動により得られた効果を認識し、可能な限り定量的（貨幣単位または物量単位）に測定し伝達する仕組みのことです。

問9. 問8で「今後行いたい」「今後も行わない」と一つでも回答された方にお尋ねします。問8で示したような環境保全に関わる取組を行う上で難しい点、十分な取組が行えない、取組を行わない理由は何ですか。貴事業所の考えに**特に近いものを選び**、○をつけてください（いくつでも）。

① 行動するための時間がない	② 行動するためのお金がない
③ 面倒くさい	④ 自社くらい行動しなくてもよい
⑤ 従業員の協力が得られない	⑥ 事業内容により難しい
⑦ 環境問題の現状がわからない	⑧ 実施方法がわからない
⑨ 行動による効果が実感できない	⑩ 対策の方法について相談できる窓口がない
⑪ 必要性を感じない	⑫ 特に問題はない
⑬ その他（具体的に_____）	

問10. 問8に掲げる行動以外に、取り組むべき環境の保全に関わる行動は何だと思えますか。下記に自由にお書きください。

問1 1. 将来実現することが望ましいと思う府中市の環境像について、貴事業所の考えに特に近いものを選び、○をつけてください（いくつでも）。

- ① 太陽光などの再生可能エネルギーや水素エネルギーなどのクリーンなエネルギーを積極的に利用するまち
- ② 二酸化炭素の排出を削減する低炭素なまち
- ③ ごみの発生抑制が習慣化され、再利用・再資源化による循環的な利用がされているまち
- ④ 多様な生きものの息づかいを感じ、豊かな自然の恵みを次世代につなぐまち
- ⑤ きれいな水と空気に囲まれたまち
- ⑥ 電車やバスなどの公共交通機関や自転車・徒歩での移動が便利なまち
- ⑦ 災害に強く安心・安全に住み続けられるまち
- ⑧ 市民・事業者が積極的に地域の環境保全に参加するまち

温暖化対策

問12. 脱炭素社会（カーボンニュートラル）実現にむけて、環境問題に対する貴事業所の考え方としてあてはまるものは何ですか。あてはまるもの1つに○をつけてください。

- | |
|---|
| ① 環境への配慮は企業の社会的責任として他社に関係なく最大限実施していく予定である |
| ② 周辺他社の動向をみながら同等の取組を実施していく予定である |
| ③ 法律や条例の範囲内で実施していく予定である |
| ④ ビジネスチャンスとして捉えて取り組んでいく予定である |
| ⑤ 特に実施する予定はない |
| ⑥ その他（ ） |

地球温暖化対策に関わる貴事業所の取組についてお聞かせください。

問13. 府中市では「人も自然もいきいきする環境都市・府中」の実現に向け、具体的かつ実践的な環境保全行動をまとめた手引書として「府中市環境行動指針」を策定しています。次の①～⑩の行動それぞれについて、貴事業所は環境の保全に関わる行動を実践していますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

地球温暖化対策に関わる取組	いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	自社に該当しない
① 事務機器、空調機器、照明等の節電に努めている	1	2	3	4	5
② クールビズ・ウォームビズを励行している	1	2	3	4	5
③ 自動車のアイドリング・ストップや省エネ運転に努めている	1	2	3	4	5
④ 公共交通機関や自転車、徒歩での通勤・移動を励行している	1	2	3	4	5
⑤ 輸送・配送の合理化に取り組んでいる	1	2	3	4	5
⑥ 事業所の温室効果ガス排出量やエネルギー消費量を把握している	1	2	3	4	5
⑦ 省エネ診断やESCO事業※、PPA※等を活用し、省エネ・再エネ設備の導入・更新や運用改善を図っている	1	2	3	4	5
⑧ カーボン・オフセットを利用している	1	2	3	4	5
⑨ 気候の変化に伴う浸水や熱中症の発生のリスクに備えて対策を行っている	1	2	3	4	5
⑩ 事業所内の緑化（屋上緑化、壁面緑化を含む）に努めている	1	2	3	4	5

※ **ESCO 事業**

Energy Service Company の略称で、ESCO 事業者が顧客に対して省エネルギー改修等の対策を行い、光熱水費の削減実績から対価を得るサービスのことで。

※ **PPA**

Power Purchase Agreement の略称で、企業等が建物の屋上や敷地の一部を PPA 事業者提供して、発電設備を導入する方法です。PPA 事業者は設備の施行から運転・保守を実施し、発電した電力を敷地内の建物に供給することで対価を得ることができ、企業等は初期投資不要で、発電設備を導入することが可能となるサービスです。

問14. 問13で「今後行いたい」「今後も行わない」と一つでも回答された方にお尋ねします。問13で示したような環境保全に関わる取り組みを行う上で難しい点、十分な取り組みが行えない、取り組みを行わない理由は何ですか。貴事業所の考えに特に近しいものを選び、○をつけてください（いくつでも）。

- | | |
|------------------|-----------------------|
| ① 行動するための時間がない | ② 行動するためのお金がない |
| ③ 面倒くさい | ④ 自社くらい行動しなくてもよい |
| ⑤ 従業員の協力が得られない | ⑥ 事業内容により難しい |
| ⑦ 環境問題の現状がわからない | ⑧ 実施方法がわからない |
| ⑨ 行動による効果が実感できない | ⑩ 対策の方法について相談できる窓口がない |
| ⑪ 必要性を感じない | ⑫ 特に問題はない |
| ⑬ その他（具体的に_____） | |

省エネルギー・再生可能エネルギー設備などの利用状況についてお聞かせください。

問15. 貴事業所では省エネルギーや再生可能エネルギー機器などを利用していますか。もしくは今後利用する予定はありますか。あてはまる番号または記号に○をつけてください。

(利用状況の○は1つ、“利用の予定はない”場合の理由の○はいくつでも)

設備など	回答欄1			回答欄2					
	利用状況 (○は1つ)			“利用の予定はない”場合の理由 (○はいくつでも)					
	利用している	概ね5年以内に購入する予定	利用の予定はない (回答欄2にすすむ)	検討する時間がないから	費用が高いから	手間がかかるから	設備の概要や効果を知らないから	賃貸だから	その他
①LED照明	1	2	3	A	B	C	D	E	F
②省エネルギー型家電 ^{※1}	1	2	3	A	B	C	D	E	F
③高効率給湯器 ^{※2}	1	2	3	A	B	C	D	E	F
④家庭用燃料電池システム ^{※3}	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑤太陽光発電システム	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑥太陽熱利用システム	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑦高効率換気・空調設備 ^{※4}	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑧蓄電池 ^{※5}	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑨住宅用エネルギー管理システム(HEMS) ^{※6}	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑩次世代自動車 ^{※7}	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑪V2H(電気自動車用充電装置) ^{※8}	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑫断熱窓(複層ガラス又は二重窓)	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑬高反射塗料・遮熱フィルム	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑭雨水貯留タンク	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑮クリーンな電気を取り扱う電力会社への切り替え	1	2	3	A	B	C	D	E	F
⑯その他()	1	2							

※1～7の解説については次ページをご覧ください。

温暖化対策 問15の設備などに関する解説

※1 省エネルギー型機器

概ね5年以内に発売されたモデルの家電、または右のようなラベルが表示された家電は従来型と比べて省エネルギー型といえます。



※2 高効率給湯器

より少ないエネルギーでお湯を作ることができる給湯器です。

※3 蓄電システム

発電や買電した電気を蓄え、必要なときに必要な分だけ使えるようにする装置です。太陽光発電と組み合わせることで、昼間に発電した電気を夜間に使用したり、災害等で停電した際も蓄えている電気を使用したりできます。

※4 ガスコージェネレーションシステム

都市ガスやLPガスを燃料に用いて、必要な場所で電気をつくり、同時に発生する熱を冷房・暖房・給湯・蒸気などに有効利用するシステムです。

※4 高効率換気・空調設備

熱交換型換気設備や高効率空調設備で、従来と比べて少ないエネルギーで換気・空調が行える設備です。

※6 エネルギーマネジメントシステム (BEMS、FEMS)

電気設備とつないで、電気やガスなどの使用量をモニター画面などで「見える化」したり、電気設備を「自動制御」したりすることにより、事業所で使うエネルギーを節約するための装置です。

※7 次世代自動車

ハイブリッド自動車、電気自動車、プラグインハイブリッド自動車、燃料電池自動車などの総称です。従来車と比べて二酸化炭素の排出の少なく、地球温暖化対策に有効であると期待されます。

※8 V2H

Vehicle to Homeの略で、電気を電気自動車に貯めたり取り出したり、バランスよくコントロールできる装置です。電気自動車に割安な深夜電力を貯め、電気代の高い昼間の時間帯に使うといった工夫をすることができます。また、停電時などに電気自動車から取り出した電気を家庭内で使うことができるので、災害時への備えとしても活用できます。

気候変動について、貴事業所の考えをお聞かせください。

問16. 地球温暖化などの環境問題を原因とする異常気象の影響で、貴事業所が不安に感じることは何ですか。貴事業所の考えに特に近いものを選び、○をつけてください(いくつでも)。

- | | | | |
|-------------------|-----------------|--------------|-----------|
| ① 海面上昇、高潮 | ② 洪水、豪雨 | ③ 熱中症や伝染病の拡大 | ④ 水不足 |
| ⑤ 食糧不足(農業・漁業への影響) | ⑥ 生態系の破壊や動植物の絶滅 | ⑦ 積雪量の変化 | ⑧ 不安を感じない |
| ⑨ その他(具体的に) | | | |

市への要望についてお聞かせください。

問17. 脱炭素社会（カーボンニュートラル）実現にむけて、地球温暖化対策として、府中市に期待する取り組みは何ですか。貴事業所の考えに特に近いものを選び、○をつけてください（いくつでも）。

- ① 省エネ意識や関心を高める取り組み
- ② 自転車や公共交通機関の利用促進
- ③ エコカーや次世代自動車の普及促進
- ④ オフィスや工場の省エネ対策を促進
- ⑤ 温室効果ガスを吸収する、みどり、森林の保全・整備
- ⑥ 建物の断熱性能向上を促進
- ⑦ 再エネ機器・蓄電池設備の導入促進・補助
- ⑧ 地球温暖化についての学習機会の拡充
- ⑨ 熱中症対策
- ⑩ 水災害対策（洪水、ゲリラ豪雨、土砂災害）
- ⑪ 市有施設への太陽光パネル等の設置やZEB化※
- ⑫ 未利用地を活用した再生可能エネルギーの導入促進

※ **ZEB**

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略称で、「ゼブ」と呼びます。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のことです。

問18. ここまでの質問回答以外で貴事業所が地球温暖化対策に関して先進的、独自に取り組んでいることがありましたら記入してください。

問19. 地球温暖化対策について、お気づきのことやご意見などがありましたら、自由に記入して下さい。（例：問13に掲げる行動以外に、地球温暖化対策の推進を図るため、取り組むべき環境の保全に関わる行動等）

生物多様性

府中市の生きものに関わる貴事業所での取組についてお聞かせください。

問20. 府中市では「人も自然もいきいきする環境都市・府中」の実現に向け、具体的かつ実践的な環境保全行動をまとめた手引書として「府中市環境行動指針」を策定しています。次の①～⑧の行動それぞれについて、貴事業所は環境の保全に関わる行動を実践していますか。最もあてはまるもの1つに○をつけてください。

生物多様性の保全に関わる取組	いつも行っている	時々行っている	今後行いたい	今後も行わない	自社に該当しない
① 生物多様性保全に関する方針を定めている	1	/	3	4	5
② 市内の動植物の調査あるいは保全活動に参加する、もしくは事業所内に生育・生息する動植物を調査、把握または保全している	1	2	3	4	5
③ 原材料の調達にあたっては生物多様性に配慮している	1	2	3	4	5
④ 生物多様性の保全を目的として土地を保有、賃借または管理している	1	2	3	4	5
⑤ 多摩川・用水路・湧水などの水辺環境や水質の調査、用水路の整備に協力している	1	2	3	4	5
⑥ 緑の実態調査や、公園・緑地の清掃・管理に参加している	1	2	3	4	5
⑦ 馬場大門のケヤキ並木やその周辺の緑、崖線の緑、田畑などで構成されるふるさと景観の保全に努めている	1	2	3	4	5
⑧ 農地の保全や地元農産物の利用に努めている	1	2	3	4	5

問21. 問20で示したような生物多様性保全に関わる取り組みを行う上で難しい点、十分な取り組みが行えない、取り組みを行わない理由は何ですか。貴事業所の考えに特に近いものを選び、○をつけてください（いくつでも）。

① 行動するための時間がない ③ 面倒くさい ⑤ 従業員の協力が得られない ⑦ 環境問題の現状がわからない ⑨ 行動による効果が実感できない ⑪ 必要性を感じない ⑬ その他（具体的に_____）	② 行動するためのお金がない ④ 自社くらい行動しなくてもよい ⑥ 事業内容により難しい ⑧ 実施方法がわからない ⑩ 対策の方法について相談できる窓口がない ⑫ 特に問題はない
--	--

問22. 問20で「今後行いたい」「今後も行わない」と一つでも回答された方にお尋ねします。問20に掲げる行動以外に、生物多様性を保全するため、取り組むべき環境の保全に関わる行動は何だと思えますか。下記に自由にお書きください。

問23. ここまでの質問回答以外で貴事業所が生物多様性保全に関して先進的、独自に取り組んでいることがありましたら記入してください。

問24. ここまでの質問回答以外で貴事業所が環境保全に関して先進的、独自に取り組んでいることや、府中市の環境についてお気づきのことやご意見などがありましたら、自由に記入して下さい。(環境全般・温暖化対策・生物多様性のいずれのテーマでも構いません。)

環境に関する事業者アンケート調査は以上になります。
ご協力ありがとうございました。